

事業所名

キッズの森第3

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

3月

24日

法人（事業所）理念		<p>私どもNPO法人あいあるは、知的障がい児（者）及びそれを支えるご家族の方々が、安心して将来を見据えた生活を送って頂くための環境づくりをサポートすることを基本理念としています。その為に、我々、NPO法人あいあるは、児童のみならず青年に至るまで長期に渡りサポートを続けられる環境を整えると共に、利用児（者）に対しては、「一歩進んで二歩下がる」の精神の下、少しずつでも確実に成長してもらえるような活動を行っていくことで、年少時から高齢時という長期の支援を達成できるような組織となることを目指しています。理念の中に「一歩進んで二歩下がる」という文言がありますが、これは、決して前に進まないということではなく、職員や保護者の方が、迷いなく前に進める様という思いを込めた理念になっていますが、これは、知的障がいを持っている児童の場合、成長したと思う瞬間があっても、その後に大きな後退を感じる瞬間があります。この時に、「何で出来ていたことが出来なくなったのか」と感じてしまいますと、職員も保護者の方も大きなショックを受けてしまいます。しかし、この時の心構えとして、「一歩進んだら二歩下がることもある」という思いで支えて行きましょう。という意味が込められていますので、決して成長しないということではありません。繰返し、5領域に添った療育的支援を行うことで必ず成長はします。そして、将来、大人になった時に、その成長が実感できるように私どもは、子どもたちの支援を続けて行くことこそキッズの森の理念となります。</p>						
支援方針		私どもが掲げる5領域に沿った形で、小学1年生～高校3年生までの12年間を児童ご家族と共有することにより、子供たちが成長する過程を見ながら社会に適応出来る様な療育を焦らずゆっくり進めて行くこと。						
営業時間		13時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ①定期的な心身の把握（検温や気分把握） ②生活リズムの安定（学校やご自宅問わず定期的かつ定時に通所をしていただく） ③建物・訓練室その他、構造を意識したサービスの提供・掲示・支援方法等 ④SST(ソーシャルスキルトレーニング)などによる身体的、精神的、社会的訓練（日々活動の中で取り入れる） ⑤衣服の着脱（外遊びや水遊び等の活動の前に重点的に取り組む） ⑥衣服の整頓（活動の中で衣服の折り畳み方などを訓練、衣服の整頓が行えるようにして行くこと） 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ①姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善（理学療法的な観点から改善を図る） ②視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動（児童の特性を見極めストレングスになるよう支援していく） ③つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた遊具遊びの提供（施設内にて様々な用具を使い感覚を養ってもらう） ④ストレッチを基本とした軽度な運動 ⑤バランスボールでの姿勢保持（施設内にバランスボールを使い体感を鍛えたり姿勢の保持に利用） ⑥指先トレーニング（トング・箸などを利用し、小さなもの摘みなどを工夫し指先の感覚を養う） ⑦音楽に合わせて体を動かす遊びや運動（ダンスや椅子取りゲームなどの活動） 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ①物の機能や属性、形、色、音が変化する様子の把握（認知が支援員とは違うという事を支援員が理解した上で意識した活動を行う） ②空間・時間等の概念の把握（タイマーや絵カード・シンボルを使い工夫して支援を行う） ③天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成（対応調整等が苦手な児童に対しては、その都度、意識した支援を行う） ④粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成（工作活動の中で工夫しながら行う） ⑤ブロック遊びなどによる空間把握の認知形成（空間把握が苦手な児童も多くいることから、日常生活や運動能力に役立つな活動を取り入れる） ⑥小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮（多人数では出来ない行動形成や認知の偏りを見つけて出すことで、配慮したり能力を高める） ⑦ABA（応用行動分析）などにより感覚、認知の偏りに対するリフレーミング（強みが弱みになったり弱みが強みになる事を理解し、一瞬の変化にも対応できるよう職員のスキルアップを行う） ⑧季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動（学校休業日等には常にお出掛けをして、季節の変化や実際の行動にて認知を高める） 						

	言語 コミュニケーション	<p>①文字・記号、絵カード、機器等の適切なコミュニケーション手段を選択・活用することでコミュニケーション能力を高める</p> <p>②本人の気持ちを表出してもらうために職員から積極的に明るく挨拶をして児童のコミュニケーション能力を引き出す</p> <p>③活動の振り返りや挨拶を児童に行ってもらうことでコミュニケーションを高める（言語だけでなく他の方法であっても挨拶の場を設ける）</p> <p>④ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化することで、より分かり易く覚えてもらえるよう工夫した支援を行う</p> <p>⑤PECS/TEACCHなどコミュニケーションのスキル向上訓練</p> <p>⑥マカトン、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション</p>		
	人間関係 社会性	<p>①アタッチメント形成（個別面談で自尊心を高める・認める）</p> <p>②活動前に全体を指差しする等を行い、全体を見渡す機会の設定</p> <p>③見本になるこどもの近くに誘う等の関わり・促し</p> <p>④見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ</p> <p>⑤一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ</p> <p>⑥役割分担のある遊びなどの協同遊び</p> <p>⑦ルールの理解が必要な遊びや集団活動</p> <p>⑧地域施設などへの社会見学（学校休業日には積極的に社会参加をして行く）</p> <p>⑨イベントなどを通した人間関係・社会性の構築（キッズの森では、夏休・春休みなどお泊り療育を通じてより社会性を身につけてもらえるような活動を行っている）</p>		
	家族支援	児童についての相談や悩みあるいはご家庭での係わり等、ご家族との連携を強化し、常に連絡が取れる体制を整え、利用児童等同様に支援を行います。	移行支援 小学校から中学、高校、就労とその時々に応じて適切な支援を行い、個々の特性・個性を考慮した内容にて移行出来るよう支援します。	
	地域支援・地域連携	地域社会との交流を深めるべく、近隣イベントへの参加、あるいは、近隣のゴミ拾いなどを通じて、この地域に私どもの放課後等デイサービスがあることを知っていただく事、また相談支援や社会福祉協議会等との連携を深める。	職員の質の向上 自法人で行っている強度行動障害支援者養成研修（職員は無料）や虐待防止、その他の研修、講習への積極的な参加等で職員の質の向上を目指します。	
	主な行事等	通年イベントの実施や、「夏休みの宿泊療育」「春休みの卒業旅行」や毎年400名程度が参加する「キッズの森クリスマス会」など、社会との交流を深めるための活動などキッズの森事業所全体で行う行事の他、施設ごとに行う「夏休みの遠足」など、多くのイベントを行います。		